

平成21年9月7日

防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成21年度病害虫発生予察防除情報第14号

普通期水稲 トビイロウンカの防除対策について

トビイロウンカについては、平成21年8月27日付けで注意報を発表しましたが、その後もトビイロウンカの発生が多く、また、防除の不徹底により寄生密度が非常に高い圃場や坪枯れの発生がみられています。今後の発生状況によって坪枯れの発生が多くなると予想されるので、下記の点に留意して防除の徹底をお願いします。

記

1. 発生状況

- (1) 9月上旬に普通期早植地域において発生状況調査(46圃場)を行った結果、発生圃場率は93.5%、株当たり虫数は1.8頭であり、株当たり虫数が5頭以上の圃場が8.7%であった。また、一部で坪枯れしている圃場も認められた。
- (2) 9月1半旬の県予察圃場(普通期、無防除)調査の結果、株当たり虫数は39.0頭(平均1.8頭)と非常に多く、若齢主体であった。また、寄生株率は100.0%(平均35.1%)と高かった。
平均はH14~20年の7カ年平均

2. 防除対策

- (1) 8月下旬~9月上旬に穂揃い期の防除を行った圃場でも、再度追加防除を行う。
- (2) 本虫の発生は圃場間や同一圃場内でも偏りが大きい。このため、防除を行った圃場でもその後の発生状況に十分注意し、防除効果の確認を行うとともに必要に応じて追加防除を行う。
- (3) 9月上旬の成・幼虫数が株当たり5頭以上認められる場合は、坪枯れの発生が予想されるので早急に防除を行う。
- (4) すでに坪枯れが発生している圃場では被害の拡大を防ぐため早急に防除する。また多発生圃場で水稲が収穫可能な時期に達している場合はできるだけ早めに刈り取る。
- (5) 本虫は株元を好んで寄生するので、薬剤散布は株元に薬剤が十分に付着するよう丁寧に行う。
- (6) 収穫時期が近づいているので、薬剤の散布時期に注意し使用基準を厳守する。また、周辺環境を十分に確認し、ミツバチも含め周辺動植物等への飛散などによる影響がないよう十分注意する。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL:0957-26-0027